

図書館だより

校庭の木々も葉を落とし、枝の間から澄み切った空や鮮やかな夕焼けが見えるようになりました。持久走などで日中は体を動かし、日が暮れたら暖かくして読書の時間を味わうのもいいですね。図書室はいつでもみなさんをお待ちしています。



11月25日(月)～29日(金)には読書週間があります。これまで準備してきた図書委員さんや栄養士の堀井先生、調理員さんたちにもご協力いただき、楽しい企画を用意しています。いろいろな楽しみ方で本を味わってみましょう。

お話給食 DE クイズ

25日と27日はお話給食です。本に出てくる食材やメニューをおいしく味わいましょう。図書室では、題材になった本についてクイズも行います。ぜひ参加してしおり交換チケットをゲットしてください。



図書室マスコットコンテスト

富屋小学校にはとみじろうがいますね。図書室にもすてきなキャラクターがいたら楽しいなということで、みなさんの応募作品の中から、図書室のマスコットキャラを決定します。

22日(金)までに図書室に応募しましょう！

図書委員さんが選ぶ！

おすすめ本のふくぶくろ

図書委員さんがテーマに沿ったおすすめの本をいれて、福袋ならぬ“ふくぶくろ”をつくりました。どんな本が入っているかは開けてからのお楽しみ！ふだんは読まないお気に入りの本に出合えるかもしれません。

本を読むこびとをさがそう！

あれ、あれ？図書室の本にかくれてこびとが本を読んでいます。こびとを見つけて、その本を借りてみましょう。こびとがうれしいおまけをくれるかもしれませんよ。



このほか朝の読書タイムが増えたり、期間中貸出冊数が3冊までになったりなどの特典もあります！

『ふくろうくん』 アーノルド ローベル 作 三木 卓 訳 文化出版局

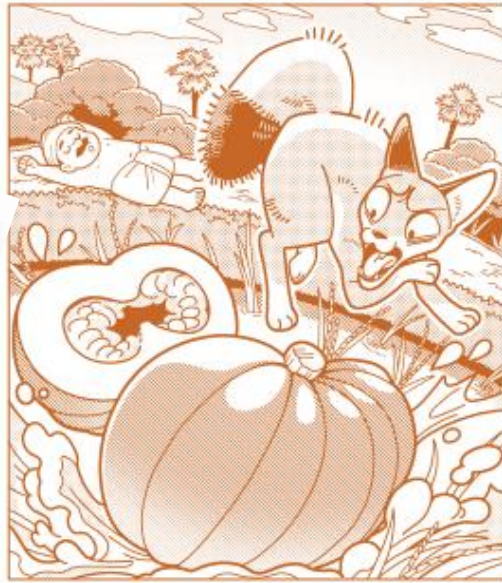
おひとよしでまがぬけていて、でもとっても愛らしいふくろうくんの5つのお話。いろんなことを感じて考えることの豊かさを教えてください。月明かりやろうそくの火、だんろのある暮らしに心も温まりながら、何度も読み返したくなる一冊です。



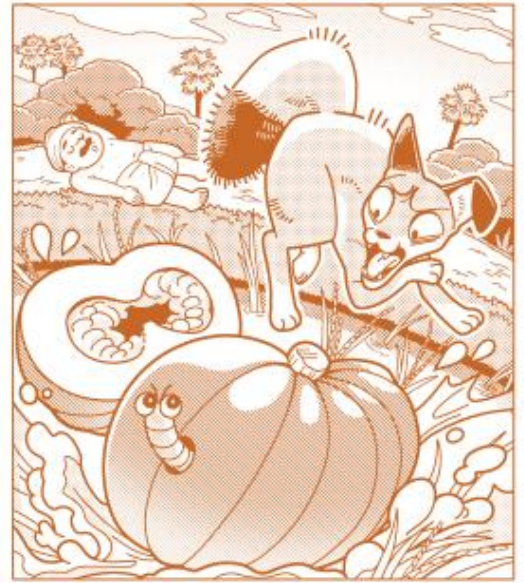
かぼちゃのおいしい季節です。インドの民話『たまごからうま』には、おかしなかぼちゃが登場します。



お話し まちがい探し 「たまごからうま」



ダーがつかれてねていると、キツネがかぼちゃにつまずきます。田んぼに落ちたかぼちゃは、バカッ！と割れました。下の2枚のイラストには、5つのまちがいがあります。いくつ見つけれられるかな？



読書の秋に「うちどく」しませんか？



夏休みにご家庭で「うちどく」にご参加いただいた方もいらっしゃると思います。「家読（うちどく）」とは、家族で本を読んでコミュニケーションをとることで、家族の絆が強まることを目的としており、栃木県で進めている取組です。日頃、図書室では児童が「この本おうちにあるよ」と教えてくれることがよくあります。ご家庭での読書がよい体験としてきちんと積み上げられているのだなと微笑ましく思います。

読書には、「エネルギーもワザも必要」と言われます（笹沼颯太「東大発！1万人の子どもが変わったハまるおうち読書」, ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2024, 276p）。お気に入りの一冊に出会い、読書体験を積み重ねていくのにも「うちどく」はおすすめです。お仕事や家事で忙しく、なかなか一緒に本を読むお時間を取れない場合もあると思います。富屋小では、11月の一ヶ月間を読書調査期間とし、児童が学校やご家庭などで本を読むたびに記録をしています。お子様の記録を見ながら「今どんな本読んでいるの？」「この本おもしろかった？」などお話をするのも楽しいですね。お子様のエネルギーになり、「ワザ」を身につける励みになります。